

帝国通信工業（6763・プライム）

抵抗器やセンサー部品で高いシェアを誇る 技術生かして医療・ヘルスケアなど新領域へ

帝国通信工業は、電気の流れにくさを調整する部品「可変抵抗器」の大手メーカー。1944年の創業以来、AV機器、家電、車載スイッチと技術の向上とともに時代に合わせた電子部品を手掛けてきた。現在は、フィルム印刷と成型、プレス加工の3つのコア技術を生かしたゲーム機が売上を支える。今後は、非接触スイッチで高寿命な産業機器や生体センサーを生かした睡眠計測サービスなど、医療ヘルスケアでの新領域開拓に挑む。



プロフィール●はにゅう・ますお
1958年生まれ。77年帝国通信工業入社。生産技術部長、取締役常務執行役員などを経て、19年に代表取締役社長就任（現任）。

ゲームコントローラーにも内蔵される高い技術力

帝国通信工業は、電子回路の中で電気の流れにくさを制御する抵抗器やセンサー、スイッチなどの電子部品を製造する。抵抗器には、抵抗値が変えられる可変と抵抗値が変えられない固定の2種類があり、同社は両方を扱う。

同社のコア技術は、フィルム印刷と成型、プレス加工の

3つだ。可変抵抗やスイッチの接点、パターンなどをフィルム印刷することで薄くし、加えて成型、プレス加工によりニーズに合ったカスタム製品を製造できる。この技術を用いて、多様な内蔵部品を手掛けている。

2021年3月期連結業績は、売上高120億2200万円、営業利益7億5500万円。製品別でみると、AV機器が21%、自動車

家電が18%、ゲーム機を含むアミューズメントが21%、産業機器が9%、医療ヘルスケアが2%と多様な分野で活用されている。

コロナ禍では、巣ごもり需要によりゲーム機の売上が急速に拡大した。同社はコントローラーのスイッチや内蔵されたセンサーといった部品を手掛けている。国内二大ゲームメーカーに採用され、両社のゲーム生産台数の合計は年

間4000万台以上。その大半のコントローラーで、左右合わせて2個の部品が使用される。

また、同社の固定抵抗器はエアコンや給湯器に利用される。特に、パワーが必要なところに使うセメント充填型固定抵抗器が主だ。パイプの周囲に抵抗器を取り付け、電流を加えることで発熱させ、凍結防止のヒーターとしても利用される。

海外でも中国、ベトナム、タイを中心に4カ所の生産拠点と北米を含む8カ所の販売拠点を有する。海外売上は46%を占め、「NOBLE」ブランドで知られる。

カメラ部品でシェア首位級のちに車載スイッチへ

帝国通信工業は1944年に創業。当時は同社の可変抵

摩耗が無く高寿命となるのが強みだ。

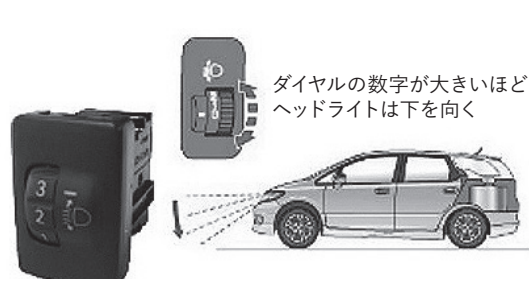
医療ヘルスケア領域では、注射器の液体量を検知するポジショニングセンサーなどを開発。すでに高シェア獲得に向け動き出しているのが、筑波大学発のスタートアップ企業S'UIMINと資本提携する睡眠計測サービスだ。入院せずに自宅で臨床レベルの睡眠検査を行える。帝国通信工業が手掛けるのは、ウェアラブルデバイスの身体に装着する電極部分である生体センサーだ。実用化に向け精度を上げてきた。

「当社が手がける生体センサーについては、1年後には厚生労働省に医療機器として

認可されることを目指しています。それを後押しに、電極数では年間何十万という数の利用を見込んでいます」（同氏）

26年3月期には、現在同社売上高の2%にすぎない医療ヘルスケア領域を6%まで伸ばす計画だ。さらに、新製品に注力する産業機器を9%から14%に、5Gに関連した公共事業や防災といった現在模索中の領域も確立し5%にする。新領域の売上高だけで同社の25%となるよう成長させていく。

「顧客のニーズを捉えた新製品とトレンドに合わせた新領域にチャレンジしていきます」（同氏）



▲自動車のヘッドライトの角度調整に使われる

ダイヤルの数字が大きいくほどヘッドライトは下を向く

帝国通信工業は、26年3月期を最終年度とする5カ年の中期経営計画を発表。最終年度には売上高180億円、営業利益15億円を計画。「既存領域の拡大」と「新領域の模索」が2軸となる。

既存領域では、これまで手掛けてこなかったチップ抵抗という固定抵抗器の開発など、コア技術を生かして製品の横展開に挑む。

新領域として開発した新製品は拡販段階に入っている。産業機器では非接触スイッチ



▲S'UIMINの提供する睡眠計測サービス

AI解析

- ・入院せずにどこでも
- ・電極を自分で簡単装着
- ・連続5〜7晩の計測可能
- ・AI判定で迅速かつ正確

【帝国通信工業】株式データ

コード	6763	市場	プライム
直近株価	1,442円	(22.3/28終値)	
昨年来高値	1,674円	(21.9/14)	
昨年来安値	1,018円	(21.1/7)	
時価総額	144億円		
PER	9.2倍	配当利回り	4.38%
PBR	0.59倍	決算	3月

2021年3月期 連結業績			前期比
売上高	120億2200万円		3.8%減
営業利益	7億5500万円		21.0%増
経常利益	8億8300万円		18.1%増
当期純利益	7億5500万円		—

2022年3月期 連結業績予想			前期比
売上高	148億円		23.1%増
営業利益	17億5000万円		131.7%増
経常利益	19億円		115.1%増
当期純利益	15億円		98.6%増

値動き



▲カメラの交換レンズに使われる曲面タイプセンサー

